

20年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第18号
令和6年1月9日

「新しい花の種」を育む

校長 富塚 義幸

新しい年がスタートしました。本年もどうぞよろしく申し上げます。1月のことを「睦月」と呼びます。お正月には家族や親戚が集まり睦む（仲良くする、親しみ合う）ことから、「睦び月」が転じたと言われていました。また、始まりを意味する“元”という言葉から、「もつき」が「むつき」に変わったという説、稲の実を初めて水に浸す月という意味の「実月」が転じたという説もあります。これからも仲良く、新鮮な気持ちで共に前へ進んでいきましょう。

私は、いつもは遅くまで起きていることはありませんが、大晦日は家族とテレビをみながら年越しをします（途中コタツで寝ていましたが…）。ウトウトしてテレビに目をやると、紅白歌合戦が映し出され、あいみょんが『愛の花』を歌おうとしていました。

『愛の花』



言葉足らずの愛を 愛を貴方へ 私は決して今を 今を憎んではない
歪んだ雲が空を 空を濁して 私の夢は全て 全て置いてきたの
命ある日々 静かに誰かを 愛した日々
空が晴れたら 愛を 愛を伝えて 涙は明日の為 新しい花の種
恋に焦がれた人は 人は 天の上 いつかあの場所で強く 強く手を結び抱いて
緑ゆれてる 貴方の声が聴こえた気がする
空が晴れたら 逢いに 逢いに来て欲しい 涙は枯れないわ 明日へと繋がる輪
木漏れ日と笑う 大切な人を 失う未来なんてこないで？
空が晴れずとも 愛を胸に祈るわ 貴方に刺さる雨が 風になり 夢を呼び
光になるまで
空が晴れたら 愛を 愛を伝えて 涙は明日の為 新しい花の種
空が晴れたら 逢いに 逢いに来て欲しい 涙は枯れないわ 明日へと繋がる輪
言葉足らずの愛を 愛の花を貴方へ

私は、歌を聴きながら、令和5年度葉山中生徒会スローガン『**新花**～培った**20年**に**新しい種**を～』を思い出しました。あいみょんの歌詞と重ね合わせ、これまで過ごした日々を振り返りました。全て順調であったわけではありません。困難と向き合い、話し合い乗り越えたこともありました。そのような経験が一人一人の心の芽を膨らませ、花を咲かせ、**新しい花の種**につながっていくのだと思います。さあ3学期、皆さんの成長を楽しみに応援し続けます！

= 2024年新春の朝 =



資料：地震から身を守るために

緊急地震速報により、元旦の雰囲気が一変しました。午後4時10分ごろ、石川県で最大震度7の地震が発生しました。日本全国広い範囲で揺れが観測され、その後、大津波警報・注意報が日本海沿岸に発表されました。テレビ画面では津波の危険を知らせる情報が流れ続けました。繰り返される呼びかけに、海岸沿いに住んではいないのに「何者か分からない恐怖」で私は不安になりました。葉山中学校には、藤田先生と教頭先生が一早く駆けつけ、校舎内外の点検をしてくださいました（大きな被害がなく安心しました）。その後も、地震速報や能登半島の建物倒壊・大規模火災、支援物資搬送中の海上保安庁航空機事故のニュースに心が痛みました。私たちの日常は、地震災害と隣り合わせなのだと実感せざるを得ません。私たちがやっておくべきことは、心の持ち方を含めて“いざという時のために備えること”です。10月、本校では地震から身を守るための避難訓練を行いました。状況によっては自分で判断し行動しなければならないこともあります。危険から逃れる判断と行動をして、自分の命は自分で守るようにします。以下、地震への備えについてまとめました。ぜひご参考ください。

「家庭における地震への5つの備え」

- 1 家の中での安全対策を実施 →家具やテレビの転倒防止、安全空間の確保
- 2 避難場所や避難経路を確認 →家から外へ・外から避難場所への安全経路
- 3 非常用の持ち出し品を準備 →自力での生活や被災後を想定して用意

(例) 飲料水 食料品 貴重品(貯金通帳・印鑑・健康保険証・現金)
携帯電話 持病の薬・救急用品 ヘルメット・ずきん(帽子)
マスク 軍手 懐中電灯 衣類・下着 洗面用具
毛布・タオル 携帯ラジオ・予備電池 使い捨てカイロ
ティッシュペーパー・ウエットティッシュ(トイレトペーパー)
※その他必要なものは?

- 4 家族間の連絡方法を確認 →待ち合わせ場所や非常時の連絡方法の合意
- 5 防災訓練への参加(もしもについて話題) →どんな時も身を守る決意

一月九日火曜日
日直 富塚

= 我が家の約束(備忘録) =